

地域産業の担い手育成プロジェクト(ものづくり分野)  
平成20~22年度

# 高校生ものづくり人材育成事業 富山県

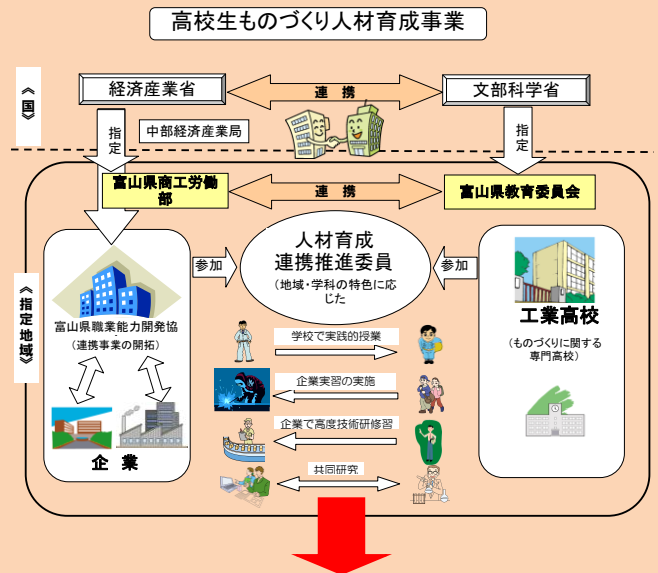
事業実施機関・・・富山県教育委員会、富山県職業能力開発協会  
関係省庁・・・・・・経済産業省中小企業庁  
取組校・・・・富山県立魚津工業高等学校、富山県立富山工業高等学校  
富山県立高岡工芸高等学校、富山県立砺波工業高等学校

## 事業目標

地域産業界と専門高校の連携により“ものづくり人材育成”の仕組みを構築する。

## 事業の概要

県下4地域の工業高校と地域企業が協働して、地域社会の人材ニーズに対応できる若年技能者を育成するプログラムを展開する。  
これらの事業を通じて、地域企業が求める実践的な知識及び技能を高校生や教員に習得させるとともに、ものづくり現場の職場環境、チームワークの大切さなどを体験させ、そのコミュニケーション能力の向上や勤労観の涵養を促す。  
将来の富山県におけるものづくり産業を支える担い手、地域の企業ニーズに応じた産業人材の育成を図る。



地域企業と工業高校等が協働した人材育成システムを構築  
地域企技能継承・人材確保 工業高校実践力の向上

- 人材の確保 ●熟練技能者が持つ「勘・コツ」の若い技能者への継承 ●「仕事は見て盗むもの」というOJTからの脱却 ●確かな進路選択 ●実践的な知識及び技能を習得 ●コミュニケーション能力の向上 ●勤労観の涵養 ●自らの適性の見極め

## 事業内容と成果

### 生徒の企業現場実習

短期インターンシップ: 1年生または2年生の学年全体で、3~5日間、学習内容や進路などに関連した就業体験を実施した。

生産訓練的実習: 3年生の希望者に対し、10日間程度の就業体験を実施した。

デュアルシステム: 企業における体験実習と、体験学習に関わる学校での実習を関連させ実施した。

短期インターンシップには4校の生徒全員が参加し、生産訓練的実習とデュアルシステムには、のべ250名の生徒が参加した(平成22年度)。

生徒は多くの刺激を受け、高度な技能、技術に接することができた。



## 企業専門技術者による工業高校での実践指導

地域現場における、第一線で活躍する専門技術者や、伝統工芸士を特別講師として招聘し、最新の工業技術や伝統工芸の技術を学習した。

ものづくりの感性や創造性、技術者としての将来の展望や勤労観などを育成した。

課題研究等において、研究内容や発表方法等について、企業の技術者から助言指導を受けた。

24社の企業から招聘し、767名の生徒が体験した(平成22年度)。生徒達は、それぞれの分野における専門的な技術・知識を習得できた。



## 教員の企業研修

教員が地域の企業において、各自のテーマに沿って10日間程度の研修を受けた。生産現場における就業体験を通して専門的な技術と、ものづくりに取り組む企業の姿勢を習得し、地元産業についての見聞を広めた。また、企業から技術者を招聘し、学校の設備を利用して行う教員研修も取り入れた。

平成22年度は、18名の教員が15社の企業で研修に取り組んだ。高度で専門的な技術を教員が学ぶことにより、日頃の授業において生徒に対して専門的な事柄や具体的なキャリア教育を施すことができるようになった。



## 共同研究・地域交流・発表大会等

地域の小中学生に対する「ものづくり教室」や、学習内容を生かしたボランティア活動に取り組んだ。

生徒20名が小学生58名に対し、工作教室を実施した。

企業からの技術指導を受け、中学校技術家庭科の教材(電子工作キット)を開発した。

地域イベントなどにおいて、高校生がおもちゃの修理を行う「おもちゃの病院」を開催した。

生徒が自ら設定した研究テーマについて調査研究・発表を行い、地元企業技術者等の審査を受ける工業技術論文発表大会を開催した。

海外技術研修会として中国に生徒を派遣し、現地学校との合同研究発表会や企業交流を行った。



連絡先 富山県教育委員会 県立学校課

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7 県庁南別館4階

TEL:076-444-3450 FAX:076-444-4437 URL [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/3003/](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3003/)

富山県職業能力開発協会

〒930-0094 富山県富山市安住町7-18 第一生命ビル2階

TEL:076-432-9883 FAX:076-444-9894 URL <http://www.toyama-noukai.or.jp/>